

一般会計予算案への 各会派の意見

令和4年多摩市議会第1回定例会では、令和4年度一般会計予算を全会一致で可決しました。

一般会計予算を審議する際に行った討論を通して、各会派の予算に対する意見をご紹介します。



日本共産党
安斉 きみ子

平和・人権を大切にする市政を評価、ケアに手厚い市政へ

原案可決 5人

2022年度予算編成はコロナ禍にあっても、市税収入について前年度比で約15億円の増収が見込まれています。こうした強みと、また国の補正予算の地方創生臨時交付金などの活用で、PCR等の無料の検査の充実や、市民への生活支援の抜本的拡充を求めます。特に医療・介護・保育・教育・障がい者などケアに手厚い市政運営になるよう応援します。

平和・人権についてもすぐれた取り組みをしている多摩市です。ロシアのウクライナ侵略で、平和の尊さを実感しました。憲法9条の理念に沿った平和外交こそ戦争を止める道という立場で世界中が一致した行動をとるよう働きかけを求めます。



公明党
あらたに 隆見

先の見通しを立てた財政運営を！

原案可決 5人

本年度予算額は、阿部市長誕生時の493億円に比べ、自公政権が進めた社会保障の充実により100億円以上も市民に使えるお金が増えています。また、新たに取組む事業は、公明党が提案した小学校全校での屋内プール水泳指導や、窓口における手話・多言語の遠隔通訳システムの設置など、多数の要望が反映されており評価しています。

今後の財政運営については大きな財源を伴う事業などを洗い出し、先々の財政見通しを立てたうえで、予算の執行については慎重に取組み、決して無駄遣いをしない。また、激変する社会情勢の中、市民の命や生活を守るため必要な対応は大胆にスピーディーに取組むよう要望しました。



新政会
山崎 ゆづじ

具体的な計画を立て予算執行を

原案可決 5人

この先、人口減少や高齢化の進行による納税額の減少や、社会保障費・公共施設の老朽化対応など財政負担の増大が想定されます。歳出を抑えるだけでなく、シティセールスやふるさと納税など歳入を増やす努力が必要です。

健康まちづくりは、長年の取組みにより全庁に浸透しているものと思います。そろそろ次の新しい政策に取組む時期ではな

いでしょうか。

環境問題への対応については、行政の取組みだけでは2050年までにCO2ゼロの目標を達成する事は出来ません。市が行う事業の中で環境問題に取組む市の姿勢を市民に伝え、もっと市民の関心が高まるよう心がけていただきたいと思います。



フェアな市政
しらた 満

庁内組織風土の改善を強く求める

原案可決 4人

市民からの一報より行った質疑で、死亡届が不受理状態にされていたことや部課長にも事実が報告されていなかったことが判明し、当たり前の報告・連絡・相談がなされない実態が露呈しました。かねてから、信頼できる市政運営に庁内コンプライアンスが必要不可欠であると指摘してきましたが、組織の風通しの悪さには残念です。

「より良い組織風土なくして、より良い行政サービスは無し」。市民に信頼される市役所の再構築を急ぎ、市民の財産となりうる「人財」＝職員育成に本気で取組むことを求めます。不都合な情報をも市民と共有し、誠実に行動することを重視していくべきと考えます。



ネット・市民の会
岩崎 みなこ

優先順位を決めることが必要

原案可決 3人

長引くコロナ禍や東日本大震災から11年の余震、そして、ロシアによるウクライナ侵襲、私たちは不安と隣り合わせで暮らしています。

そのような中、全て重要な事業ですが限られた財源です。どうしても優先順位は必要です。その指標は、本予算では、市と市議会共同で出した気候非常事態宣言であるべきです。

環境のため、何よりも廃プラスチック発生を抑制すべき時ですが、本予算では、市はテニスコートの人工芝張り替えを提案されています。

アクセルとブレーキを同時に踏む予算になるのではないかと懸念から、慎重に検討する時間が必要であるとして、会派で一致しませんでした。生活者ネットワークは修正案に賛成しました。



士士の会
しのづか 元

誰一人取り残さない多摩市へ！

原案可決 2人

新型コロナウイルス感染症との闘いも2年が過ぎ、市民の命と健康、生活を守ることを最優先に取組みを進め、ニューノーマル時代を見据えた様々な手法の見直しを図っていることは評価します。

せいせきかわまちづくりや多摩ニュータウンの再生などの具体化に合わせて、いま一度、都市交通と既存施設の有効活用とい

う視点で、人が移動しやすい、出歩きたくなるようなまちづくりを検討していただきたい。

これまででもそうであったように、社会的に弱い立場の人に光を当てた市政運営を心がけて、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない多摩市」の実現へ向け、取組みをさらに前へ進めることを期待します。